

ぐんまこどもの国児童会館

にこっと通信

nicotto tsu-sin!

あけまして
おめでとうございます
ことしもよろしくね!



にこっちゃん

2020.1.15
第68号

発行／公益財団法人群馬県児童健全育成事業団



児童健全
育成講演会

「さとにきたらええやん」映画上映 &

西野 博之 氏 講演「居場所のちから～生きてるだけですごいんだ～」



・映画「さとにきたらええやん」
日雇い労働者の街・釜ヶ崎で38年間続
く子どもたちの集いの場「子どもの里」。
人情が色濃く残る街の人々の奮闘を描
く、涙と笑いあふれるドキュメンタリー
です。

開催日: 2月16日(日) 会場: 多目的ホール

時間: 一部: 13:00～14:40 映画上映「さとにきたらええやん」

二部: 15:00～16:30 西野 博之 氏講演

「居場所のちから～生きてるだけですごいんだ～」

対象: 一般(未就学児は保護者同伴) 定員: 300名

受付方法: 当日先着順(開場 12:40～、15:00以降は途中入場不可。)

共催: 群馬県児童館連絡協議会

後援: 群馬県 群馬県民生委員児童委員協議会 ぐんま地域活動連絡協議会

・西野 博之 氏 講演

NPO法人フリースペースたまりば理事長
で川崎市子ども夢パーク所長の西野先生
による講演会。「すべては生きていくため
のプロセス」居場所を生み出すために必要
なまなざしを一緒に手に入れましょう。



西野 博之 氏



スペシャルサイエンスショー

「らんま先生のeco実験パフォーマンス
～サイエンス×環境問題×楽しい～」

らんま先生のたのしい実験パフォーマンスです! 水と環境の
実験で自然エネルギーのことや、今話題の海ゴミのことなどをわ
かりやすく教えてください。世界一の大型空気砲も登場します。

開催日: 2月29日(土)

時間: 13:30～14:45

会場: 多目的ホール

対象: 一般

(未就学児は保護者同伴)

※4才程度から分かる
内容です

定員: 200名

受付方法: 事前申込。1月31日(金)
から、お電話で



こども観劇会

劇団かかし座「わくわく影絵たんけん隊」

世界で活躍する、劇団かかし座によるファンタジックな手影
絵ショーと、影絵を体験できるワークショップを行います。

ご家族そろってお楽しみください。

開催日: 3月14日(土)

時間: 14:00～15:00 (開場13:30～)

会場: 多目的ホール

対象: 一般(未就学児は保護者同伴)

定員: 150名

受付方法: 当日先着順



休
館
日

1月14日(火)・15日(水)・20日(月)・27日(月)

2月3日(月)・10日(月)・17日(月)・18日(火)・25日(火)

3月2日(月)・9日(月)・16日(月)・23日(月)

★1月13日(月)・2月24日(月)は祝日の為、3月30日(月)は
春休み期間中の為、月曜開館日となります。



ぐんまこどもの国児童会館

〒373-0054 群馬県太田市長手町480

TEL. 0276(25)0055 FAX. 0276(25)0059

URL <https://kodomonokunijidoukaikan.jimdo.com/>

Twitter: @nicottochan5

※次号は、4月15日(水)発行予定



折ってみたいな、「ぐんまちゃんおりがみ」!



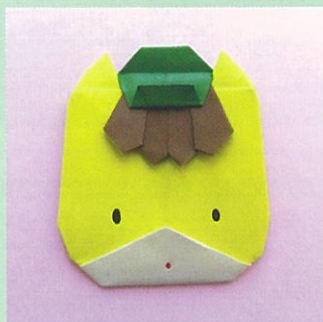
毎年10月に行われる、県内児童館の祭典、児童館フェスティバルに、今年は群馬大学の折紙研究会「Origin」が参加してくれました! この時こどもたちに教えてくれたのは「ぐんまちゃんおりがみ」です。たくさん行程がありますが、難しい折り方はありませんので、皆さんにも一部をご紹介します。

スタート

-----ここから
折る、開く
うら返す



ウラへ折る



ここまで折って「顔」の部分が終了です。この後の「たてがみ」と「帽子」の続きは「群馬大学折紙サークル Origin」のホームページをご覧ください。

ホームページの折り方には、解説文字もついていますので折り方でわからなかったら、こちらを参考にしてください。

群馬大学折紙研究会 "Origin" ホームページ

<http://origingunmar.blog.fc2.com/blog-category-9.html>

・群馬大学折紙研究会 "Origin" 板橋悠太郎考案

・営利目的での使用は不可



あそぼうタイム「ミチカ」

10月28日、群馬県民の日に当館登録ボランティアが発案した「ミチカ」という企画を開催しました。「ミチカ」とは、その名の通り“身近”にあるリサイクル素材を使ったあそびのイベントです。ペットボトルボーリングや牛乳パックの魚釣り、新聞紙プールなど6つのあそびのコーナー



に加えて、おもちゃコンサルタントでもある当館ボランティアによる工作コーナーも設けました。ホールにはたくさんの方が来場し、「家に帰ってもやってみたい！」という声を聞くことができ、大盛況となりました！

企画から準備、当日の運営までを当館ボランティアと職員が協働で行い、イベント開催時にはジュニアスタッフにも案内等を手伝ってもらいました。ボランティアとジュニアスタッフ、それぞれの交流も

図ることができた一日となりました。

当館のボランティアは普段、読み聞かせや各種イベントの受付、補助等を行っています。自ら企画を発案してイベントを実施することもできます。特技を発揮してみたい方、地域子ども達の成長を見守りたい方など、ボランティア活動に興味のある方はいつでも児童会館までお問い合わせください♪



企画投影「熟睡プラ寝たリウム2019」から、 **「みんなで選ぶ12星座物語トップ2」**

去る11月23日に開催した企画投影「熟睡プラ寝たリウム2019」の15:00からの回では、来館した方の投票で決まった、人気の12星座の中からトップ2の星座の神話を上映しました。気になる選出結果は・・・なんと、夏のお隣同士の星座が選ばれました！！そこでトップ2に選ばれた星座のお話を紹介します。お話の内容は比較的有名なギリシャ神話を取り上げました。また、お話には様々なバリエーションがあるので興味を持った方は調べてみてください。

その他の星座の順位は当館スペースシアター前に掲示してありますので、気になって眠れない方は是非ご来館ください！！

第1位 さそり座

夏の夜、真南の地平線の少し上に、大きくS字に並んだ形がさそり座です。頭の部分にめだつ赤い一等星アンタレスが輝いているので見つけやすいですね。

さそり座は有名なオリオン座の天敵です。オリオンはとても強くたくましい狩人でした。しかしせっかく持った自分の強さを自慢し、周りの人々に向け暴力をふるっていました。このオリオンの乱暴に怒った大地の女神ヘラが、オリオンの元に差し向けたのが一匹のさそりです。小さなさそりの毒針は、大きく強いオリオンの命を一瞬で奪ってしまいました。女神の使いを果たしたさそりは、褒美に天にあげられ星座になりました。

第2位 いて座

いて座は夏の夜、さそり座の東側に並んでみえます。ギリシャ神話の半人半馬のケンタウロス族の賢者で、不死の命をもったケイローンが弓を構える姿が形になっています。

博識なケイローンの弟子には、アキレスや英雄ヘラクレス、ふたご座のカストルなどがいます。ある時ヘラクレスが誤って師匠のケイローンを毒の弓矢で射てしまいます。ケイローンはこの毒に苦しみますが、治ることもなく不死のため死ぬこともできません。そこで全能の神ゼウスが不死の力を別の弟子に移し、彼は安らかな眠りにつくことができました。この時ゼウスはケイローンの功績をたたえ、星座とし天にあげました。

第28回

ぐんま
こどもの

夢大賞

入選
作品

「ぐんまこどもの夢大賞」は、児童文化の振興を図る目的で、群馬県と当児童会館の運営主体である公益財団法人群馬県児童健全育成事業団の共催で毎年行っています。18歳未満を対象とした絵画と、小学生以上18歳未満を対象とした童話の2部門を夏休みに合わせて募集を行い、今年も絵画 6,514点、童話550点というたいへん多くの作品を皆様からいただきました。

審査の結果、絵画は最優秀賞3点、金賞14点、銀賞20点、銅賞31点、奨励賞69点が、童話は最優秀賞1点、金賞3点、銀賞6点、銅賞6点、奨励賞12点が入賞しました。

ここでは、最優秀賞を受賞したみなさんの作品とインタビューを紹介します。



★インタビュー内容★

- ①受賞を知ったときの気持ち ②制作時間 ③どうしてこの作品をかこうと思ったか
④次は何をかきたい? ⑤将来の夢 ⑥保護者のことば

絵画

最優秀賞



太田市(年少)

かわさき

川崎 はな さん

「けいさつかん」



- ①うれしかった！
②2日間
③警察官が好きでかっこいいと思ったから。
④みんなでおどっている絵
⑤おまわりさん

- ⑥元々、想像力が豊かでそれが今回上手に表現できたから受賞できたのかなと思います。今後も、もっと想像力を広げていってもらえたら嬉しいです。

最優秀賞



高崎市立城東小学校(3年)

いわい かずま
岩井 一真 さん

「未来の超特急、流れ星号」



- ①ものすごくびっくりしました。
- ②半月かけました。
- ③しんだいれっしゃにいつか乗ってみたいから。
- ④いじげんをかけめぐる車。
- ⑤電車の運転手。

- ⑥ぐんまこどもの夢大賞は、ぐんまこどもの国児童会館様のモットー「子どもファースト！」が反映された情熱的な催しです。ご尽力くださった全ての方々の情熱に心から感謝申し上げます。
親子共々、感謝の気持ちでいっぱいです!!!!

最優秀賞



伊勢崎市立第一中学校(1年)

いがらし みお
五十嵐 美桜 さん

「草むらの世界へ」



- ①驚いて信じられないくらいうれしかった。
- ②3週間くらい(夏休みの中頃から最後まで)。
- ③学校で芝生を見ていて。ふだん見ている景色や「草」をきれいにかいてみたくなった。

- ④不思議できれいな世界。
- ⑤昔からイラストレーターになるのが夢でした。
- ⑥夏休み中、暇があると少しずつ色をぬって楽しみながら仕上げていました。

童話

最優秀賞



渋川市立橘小学校(2年)

すずき くれあ
鈴木 紅秋 さん

「かえるの雨がさ」

- ①学校で先生から聞いたときには、みんなの前でばんざいしてしまうほどうれしかったです。
- ②夏休み中毎日書いていたので、1ヶ月くらいです。
- ③だれかとけんかをしたときに、すぐに仲直りができるまほうがあればいいのと思って書きました。
さいしょは白うさぎのようにかわいいうぶつが、仲直りのまほうをかけるお話でしたが、子どもっぽくて、話もまとまらなくて、こまっていました。
家によくカエルが入ってくることがあって、ひからびている時は水をかけてあげること。弟のかさがにじ色で上にお日さまがついたおもしろいかさで、弟はそのかさを雨がふっていないなくてもさしていること。この2つのことをヒントにして書きなおしてみました。
- ④お花を入れたお話を書きたいです。
- ⑤お花屋さん
- ⑥自分をうれしくさせるもの、こわいもの、不安にさせるものが形を変えて夢に出て来て、よくそのお話をしてくれます。今回のお話も、夢の世界のように、自分の心のもやもやを消化する、一種の箱庭療法の様な役割をもっているように思えました。
これからたくさん本を読んで、自分の心の中を文にのびのびと表して行ってほしいです。

「かえるの雨がさ」

渋川市立橘小学校 2年 鈴木 紅秋

雨がつづく六月、めずらしく雨のふらないあつい一日がありました。リクシーは、にわでひからびかけたトノサマガエルを見つけました。

「もしかしてまだ生きているかもしれない。」と思ったリクシーは、ジョーロに水をくみ、かえるにかけはじめました。かえるの体はなかなかもとにはもどりません。もうだめかと思いはじめたそのころです。さっきまでひからびていたかえるは、とつぜんクルッと空中一回てんをしました。「ありがとうケロケロ。おれいにケロケロ、このかさをケロ、あげますよケロケロ。」と言うと、どこかへ行ってしまいました。そのかさは、よくあるとうめいのかさでしたが、なぜかワンタッチのボタンが八つもありました。

つぎの日は雨でした。リクシーはかえるにもらったかさをさそうと思って、音ぶのマークのボタンをおしてみました。さっきまでとうめいだったかさの一部分がむらさき色になりました。雨がポツリポツリとかさにあたるたびに、きれいなオルゴールのような音がくながれてきます。リクシーはかさの出す音がくに合わせて、雨の中をおどるようになってびはねました。

かえるからもらったふしぎなかさのことをもっと知りたと思ったリクシーは、まい日雨がふってほしいとねがっていました。リクシーはてるてるぼうずをつくり、ひっくりがえしにしてまどの近くにつるしました。

つぎの日、リクシーのおねがいがかいたのか、雨がふり

ました。リクシーはそとに出て、音ぶマークのボタンをおしてかさをさしてみました。リクシーは、こっちの水たまりからあっちの水たまりへと、かさからながれてくる音がくにあわせてジャンプしました。その水たまりの中に、とくべつ大きくかがみのようにピカピカした水たまりがありました。その大きな水たまりにジャンプしようとしたその時、

「ふまないでー。」と小さなさけびごえがリクシーの耳に入ってきました。リクシーはころびそうになりましたが、なんとか水たまりのそとにちゃくちしました。そのかがみのような水たまりの中をのぞいてみると、リクシーのあたまの上の空の風けいがうつっていました。青空と白いくも、そしてなぜか空の中に小さいけのようなものがうかんでいました。その時、水めんにつつている白いくものほうから、小さなこえが聞こえてくるのに気がつきました。よく見ると、小ゆびの先くらいの、白いふくをきた小さな人たちが、リクシーに手をふっていました。耳をすませて聞いてみると、こんなことを話していました。

「あのいけの方はのぞいちゃだめだー。のどがふくらむかいつに、のみこれるぞー。」

「なにがあったの。あなたたちは一体にそこでなにをしているの。」と小さいこえでリクシーが白い人たちに聞くと、「おれたちがいそいではしっていたら、やつらにひとのみにされたんだ。でもやつらの口に合わなかったみたいで、

はき出されたんだ。おれたち、これから大じなしごとがあるっていうのに、この水たまりにとじこめられて、こまってるんだ。」それを聞いてリクシーは、たすけてあげたいとも思いましたが、「かいぶつ」なんてよばれている、生きものたちが気のどくにも思いました。「かいぶつ」からも話を聞かないと、ほんとうのことが分からないと思い、リクシーはふしぎな水たまりのせかいの中の、いけのほうをのぞいてみました。そこにいたのは「かいぶつ」ではなく、かわいい小さなアマガエルたちでした。その中に、とくべつ大きなかえるが、えらそうに王かんをあたまにのせていました。それは、リクシーが二日前にたすけたトノサマガエルです。そのトノサマガエルは、リクシーに小さなこえでこう言いました。

「この前はケロケロ、かわいているところをケロ、たすけてくれてケロ、ありがとうケロケロ。そのかさのケロ、ケロケロマークをケロケロ、おしてごらんケロケロ。」リクシーは言われた通り、かえるのマークをおしてかさをひらきました。むらさき色のかさにみどり色が入り、その二色のかさをさしたままリクシーは水たまりの中にすべりこみました。

気がつく、リクシーはいけのすいれんのはっぱの上にいました。どうやら、リクシーは小さくなって水たまりのせかいに入りこんでしまったようです。

「このかさはケロ、思いやりのある人にしかケロ、つかえないケロ。ぼくらのくにのケロでんせつのケロ、かさなんだケロケロ。」

さっきのトノサマガエルはリクシーと同じ大きさになっています。かえるたちのせつめいで、とつぜんやってきた白い小さな人たちが、かえるたちにあつい風をふきかけ、かえるたちをかわかしているということが分かりました。そこでかえるのくにでーばんゆうかんなトノサマガエルの王さまが、なんとかしようと水たまりのせかいからとび出したまま出会ったリクシーにかさをくれたというのです。

「やめてって言えば、いいんじゃない。」というリクシーに「なんどもケロ、言ったさケロケロ。でもケロ、おれたちのことをケロ、かいぶつよばわりしてケロケロ、聞いてくれないケロ。なにもケロ、わるいことなんかケロケロ、してないのにケロケロ。」とトノサマガエルはこたえました。「あなたたちのだれかにのみこまれたらしいよ。いえにかえれずにこまっているって。白い人たちにあやまってから、おうちにかえす手つだいをしてあげたらどう。」とリクシーは言いました。リクシーは、かえるたちと白い小さな人たちのあらそいを、なんとかするまではかえれないと思いました。

リクシーはかえるたちと話すうちになかよくなり、おうちにしょうたいされました。かえるたちのおうちには、そうじどうぐがなかったので、草をまとめてほうきをつくり、そうじをしました。また、リクシーがひらおよぎがにがでたと話すと、かえるたちは上手なひらおよぎをリクシーに教えてくれました。みんなでいけでおよぎ、すいれんのはっぱのかけで、かくれんぼをしてあそびました。

長いこと水につかっていて体がひえてしまったリクシーは、あたたかそうなおひさまのマークのボタンをおしてかさをひらきました。かさの一ぶ分がすこしずつ赤くなってきたかと思うと、かさの内がわに小さなお日さまがあらわれました。リクシーの体はポカポカになりました。でも、

気がつくとかえるたちもリクシーといしょにかさにあたって、かわいてしまいました。リクシーは、いそいでかさをとじてから、もしかしたらやくに立つかもしれないと、水てきマークのボタンをおしました。こんどはかさの一ぶ分が水色になり、かさの内がわから雨がふってきました。リクシーはまたすぶぬれになってしまいました。かえるたちは元気になり、ピョンピョンはねてよこびました。

その日のよる、リクシーがはっぱのおふとんをじゅんびしていると、ながれぼしがながれてきました。ねがい言を考えている間に、ながれぼしはきてしまいました。リクシーのかさのボタンに、ほしのマークがあるのを見つけました。そのボタンをおすと、かさの一ぶ分が黄色になりながらひらき、そのあとながれぼしがながれてきました。リクシーは、「みんなが、なかよくしあわせにくらせますように。」とおねがいをしました。かえるたちも、ケロケロとおねがいをしました。そのよるは、たくさんほしの雨がふりました。

つぎの日は晴れでしたが、トノサマガエルといっしょにかさで雨をあびながらおさんぽをしました。リクシーはオレンジ色のタンポポマークが気に入り、ボタンをおしてみました。なんだか春のにおいがしてきたかと思うと、かさが大きなたんぽぽの花になっていました。それはすてきな日がさでした。だんだんと、かさがかるくなってくようにかんじました。風がふきかさがとびそうになったので、リクシーとトノサマガエルはかさにしがみつきました。たんぽぽのかさは、いつの間にかわた毛となって、フワフワと空にうかんでいたのです。二人はあっという間にくもの上まできていました。くもの上には、あの白い小さい人たちがたくさんいました。

「のみこんだりケロ、はき出したりしてケロ、ごめんなさいケロケロ。これからあなたたちのいえにケロ、かえられるようにケロ、お手つだいしますケロケロ。」とトノサマガエルがすぐにあやまると、

「かいぶつだなんて言ってわるかったな。おれたちはあつい南風だ。おれたちが水たまりを出ないと夏がこないんだ。おれたちをここからふきとばしてくれるか。」かさには青いうすまきもようのボタンがありました。ためにリクシーがそのボタンをおすと、たちまちかさのてぺんからつよい風がふき出し、南風たちは手をふりながらとんで行きました。

南風とかえるたちは、なかなかおりができたので、そろそろリクシーもおうちにかえるころです。さいごにリクシーは、水てきマークのボタンをおし、トノサマガエルに雨がかさをさしてあげました。トノサマガエルは、

「きみのおかげでケロ、南風となかなかおりができたケロケロ。そしてわたしたちもケロケロ、かさがつかえるようになってケロ、いつでもケロ、雨にあたれるケロケロ。きみにまた会いたくなったらケロ、ながれぼしの雨をケロ、ふらせるよケロケロ。」と言い、さいごにピンク色のおうちのマークをおしました。するとかさは八色になり、リクシーはクルクル回るにじ色のかさに目を回してしりもちをつきました。それもあの大きな水たまりの中に。

あたたかい風がふいてきました。空には大きなにじがかかっています。夏がきました。

群馬県児童館連絡協議会より

～群馬県内児童館フェスティバルのご報告～

10月20日(日)、県内47の児童館・児童センターがぐんまこどもの国に大集合しました。当日は天候にも恵まれ、「児童館でチャレンジしよう！」のテーマ通り、様々なあそびにチャレンジする子どもたちの姿が館内各所でみられました。

群馬県内にはたくさんの児童館があります。是非、お近くの児童館へ遊びにきてくださいね！！



～JA共済連群馬様より4年連続で寄付金をいただきました～

今年度もJA共済連群馬様より地域貢献活動の一環として群馬県児童館連絡協議会の会員66館へ図書購入費用(各5万円)の寄付金をいただきました。

児童館が次代を担う子どもたちにとって、健やかに安心して過ごせる場となるよう、今後も役割を果たしていきたいと思ひます。温かいご支援、本当にありがとうございます。

「四館連携スタンプラリー」を開催します！

「群馬県立図書館」「群馬県立ぐんま天文台」「群馬県立ぐんま昆虫の森」「ぐんまこどもの国児童会館」の四施設が連携し、これまでもお互いの施設で様々な催しを行ってきました。今年は共同企画として、「四館連携スタンプラリー」を行います！該当の四施設でお題をクリアすると、各施設のスタンプがもらえます。全てスタンプを集めると景品がもらえます。大人の方もチャレンジできますので、是非ご参加下さい。

期 間 12月1日(日)～2月29日(土)まで

※各施設、月曜日(祝日の場合その翌日)が休館(園)

内 容

①各施設に行き、ミッションにチャレンジします。

②ミッションを達成するとスタンプを押してもらえます。

③4つの施設すべてのミッションを達成すると記念品がもらえます。

※スタンプ用紙は各施設でもらえます。

※記念品は最後にスタンプを押した施設でもらえます。

費 用

無料(入園料が別途必要な施設もあります)

※詳細は各施設のホームページでご確認ください。

※ ミッション内容や景品については各施設にお問い合わせ下さい。

期間限定

四館連携スタンプラリー

12/1(日)～2/29(土)

期間中に4つの施設をまわって、記念品をゲットしよう！

※最後にスタンプを押した施設で記念品がもらえます。
※期間は12/1(日)～2/29(土)です。
※期間を過ぎてしまうと、記念品がもらえなくなります。
※大人の方もチャレンジできます！ぜひご参加下さい。
※スタンプ用紙は2階クラフトルームにあります。

「第10回おおた・まちの先生見本市」に参加しました

「おおた・まちの先生見本市」は毎年太田市内の小学校を会場にして、地域の自治体、NPO団体、企業やボランティアサークルに携わる人たちが「まちの環境やものづくり」をテーマに独自のブースを設置し、「先生」となって子どもたちに分かりやすく伝える催しです。今年は11月24日に太田市立鳥之郷小学校で開催され、ぐんまこどもの国児童会館も参加しました。

この日当館のブースでは、使い終わったプリンカップや乳酸飲料の容器をリユースして工作する

「サンタさん☆ベル」を紹介し、たくさんのおもちゃで賑わいました。体験した小学生からは「うちのプリンカップも、捨てないで工作に使えばよかった」との声が聞かれました。

他にも、市内のお店屋さん、地元の工場で働く人、お巡りさん、消防士さん、ボランティアをされている人、専門学校や大学で学ぶお兄さん、お姉さんなど、様々な「先生」が子どもたちやその家族とふれあう姿が見られました。

地域のことや環境のこと、ものづくりのことをみんなで学ぶことができた有意義な一日でした。

